

毎日のレポート作業、少しラクにできたら...

Google Apps Script で GA4 データを自動取得する方法

現在：手作業でのレポート作成



📋 毎朝GA4からデータをコピー

🖱️ 手作業での数値入力

⚠️ 入力ミスのリスク

🕒 時間がかかる作業



改善後：自動でデータ取得



</> GASスクリプトが自動実行

🗄️ GA4 APIからデータ取得

📄 スプレッドシートに自動記録

☕ 朝の時間に余裕が生まれる

この講座のゴール

📅 GA4の日次データを自動で取得できるようになる

💡 「わたしにもできるかも」と思える第一歩から始めましょう

よくある悩みと、ツールでの解決イメージ

よくある課題

- ☑ GA4の日別ユーザー数を毎朝集計している
データをコピー&ペーストする手間が発生
- ☑ 土日を除いたレポートを作るのが面倒
手動での日付フィルタリングが必要
- ☑ 複数のプロパティの数値をまとめるのに時間がかかる
異なるアカウント間の行き来が煩雑
- ☑ コピーミスで数値が間違っていることがある
人的ミスによるデータの信頼性低下
- ☑ 定型作業なのに毎回時間がかかる
他の業務に集中する時間が確保できない

VS

💡 GASとAPI連携による改善

⌚ 改善前

- 🕒 1日あたり約20分の作業時間
- 🖱️ 20回以上のコピー&ペースト操作
- ⚠️ 集中力の分散、ミスの可能性

✅ 改善後

- ⚡ ボタン1クリックで自動取得
- 📅 定期実行で朝イチに最新データ
- 🛡️ コピーミスのリスク排除

自動化のメリット

- ✓ 作業時間を大幅短縮（20分→1分以下）
- ✓ データ精度の向上
- ✓ 本来注力すべき業務に時間を使える

Google Apps ScriptとGA4 APIってなに？

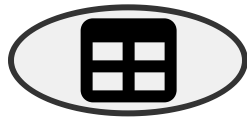
i それぞれのツールの役割と特徴



GA4 (Google Analytics 4)



GAS (Google Apps Script)



Googleスプレッドシート

データの流れ

GA4からデータを取得 → GASで処理 → スプレッドシートに出力

GA4 API

Google Analytics 4のデータを外部から取得できる仕組み

- Webサイトやアプリのアクセスデータを提供
- ユーザー数、セッション数など様々な指標が取得可能
- データを自動で取り出せるので手作業が不要に

</> Google Apps Script (GAS)

Googleのサービスを自動化できるJavaScript系言語

- プログラミング初心者でも比較的扱いやすい
- Googleのサービス同士を連携できる
- 定期実行の設定も簡単（毎日朝8時など）
- 無料で利用可能

Googleスプレッドシート

データを保存・分析・共有できるクラウド表計算ツール

- チームでのリアルタイム共同編集が可能
- 自動取得したデータを元にグラフ作成も簡単
- 関数やピボットテーブルでデータ分析も

これらを組み合わせると...

GA4のデータを自動で取得し、定期的にスプレッドシートに反映させる仕組みが作れます。技術に詳しくなくても、基本の形を覚えれば応用できます。

スクリプトの全体の流れを見てみよう

日別のセッション数とユーザー数を自動取得するスクリプトの3ステップ

≡ 処理の流れ

1 認証設定

🔑 GA4データにアクセスするための準備



2 データ取得

📄 GA4 APIからデータを呼び出し



3 シートへ書き出し

📄 取得したデータを整形して保存

📌 各ステップの説明

1 認証設定

- ✔ Google Analytics Data APIを有効化
- ✔ スプレッドシートとの連携許可
- 💡 初回のみ承認が必要、2回目以降は自動

2 データ取得

- ✔ 指定した期間のデータをリクエスト
- ✔ セッション数・ユーザー数などの指標取得
- 💡 必要なパラメータを指定するだけでOK

3 シートへ書き出し

- ✔ 取得データをスプレッドシートに整形
- ✔ 日付や数値の形式を自動調整
- 💡 定期実行で毎日自動的にデータ更新

📌 今回は簡単なスクリプトを使います。コードの詳細な理解は必要ありません。

実演：スクリプトを実行してみよう

Google Apps Scriptでデータを取得する流れとエラー対処法

📋 操作手順

- 1 スプレッドシートで「拡張機能」 → 「Apps Script」を選択
- 2 サービスから「Google Analytics Data API」を追加
- 3 サンプルコードを貼り付け、プロパティIDを設定
- 4 「実行」ボタンでスクリプトを実行、初回は認証許可
- 5 結果をスプレッドシートで確認

Apps Scriptエディタ画面

コード.gs

保存

実行

```
// GA4データ取得スクリプト
function getGA4Data() {
  const propertyId = "GA4のプロパティID";
  const metrics = [
    {name: "sessions"},
    {name: "totalUsers"}
  ];
  // 日付範囲設定
  const dateRange = {
    startDate: "7daysAgo",
    endDate: "yesterday"
  };
  /* ... 続く ... */
}
```

サービスを追加

Google Analytics Data API

追加

⚠ エラー対処法

認証エラー

「権限がありません」と表示された場合：

- Googleアカウントの権限を確認
- プロパティIDが正しいか確認
- 再度認証を行う

API接続エラー

「APIが見つかりません」の場合：

- サービスが正しく追加されているか確認
- APIの名前が正しいか確認

データ取得エラー

「データが返されません」の場合：

- 指標名が正しいか確認
- 日付範囲を調整してみる

✅ 実行結果イメージ

日付	セッション数	ユーザー数
2025-07-18	245	198
2025-07-19	189	156
2025-07-20	132	108

次のステップ

🕒

定期実行の設定方法

📄

取得データの加工や分析

⚙️

スクリプトのカスタマイズ

今日のポイントと、応用のヒント

GA4×GASで実現する自動化のまとめと次のステップ

💡 今日のポイント



API連携で手間を減らす

GA4のAPIを活用することで、手作業でのデータコピー・貼り付けから解放されます



繰り返し作業を自動化

一度スクリプトを作れば、日々のレポート作成作業を自動実行できます



データ活用に集中できる

データ収集の時間を削減し、分析や施策立案により多くの時間を使えます

💡 応用のヒント

📊 週次・月次レポートの自動化

日次だけでなく、週や月の集計を自動で行い、比較グラフまで自動生成できます

- ✓ 前週比・前月比の自動計算
- ✓ 目標達成率の視覚化

🔔 アラート通知の設定

特定の条件を満たした場合に自動でSlackやメールに通知を送ることができます

- ✓ PV数急減時の自動アラート
- ✓ コンバージョン増加時の通知

▼ カスタムレポートの作成

特定のセグメントや指標に絞ったカスタムレポートを自動生成できます

- ✓ キャンペーン別の効果測定
- ✓ チャネル分析の自動化

💬 「小さな自動化から始めて、少しずつ発展させていくことがコツです」

やってみよう：あなたの仕事に応用するには？

実践と振り返りで学びを定着させましょう

演習ファイルで実際に試してみよう



🔗 GA4_自動レポート演習ファイル

- ✓ サンプルスプレッドシートをコピーして使用できます
- ✓ スクリプトは既に用意されているので貼り付けるだけ
- ✓ テスト用にGA4アカウントをご用意ください（詳細は演習ファイル内）

💡 あなたの業務に応用してみましょう

自動化できそうな作業を考えてみよう

🔍 次のような作業はありませんか？

- 毎日同じ時間帯に同じデータを確認している
- 複数のシステムからデータを手動で集めている
- 定期的に同じレポートを作成している
- 同じフォーマットのデータ入力を繰り返している

メモ欄

自動化したい業務をメモしてみましょう...

具体的な行動計画

📅 明日から始めること

📅 来週までにやりたいこと

❓ 分からないことは？

分からないことがあれば、いつでも質問してください！